

(表)

地球温暖化対策実施状況報告書

平成 21 年 6 月 5 日

(報告先)
横浜市長

報告者 住 所 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1
氏 名 国立大学法人横浜国立大学
学長 鈴木 邦雄【公印省略】

横浜市生活環境の保全等に関する条例第144条第2項の規定により地球温暖化を防止する対策の実施の状況を報告します。

事業所の名称	国立大学法人横浜国立大学	
事業所の所在地	横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1	
地球温暖化対策 の実施年度等	実施年度	平成 20 年度
	地球温暖化対策 計画の計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 22 年度
連 絡 先	施設部 施設企画課 施設企画係 担当者氏名 田崎 利代子 (電話 045-339-3085 FAX 045-339-3099) (E-mail shi-kikaku.kikaku@nuc.ynu.ac.jp)	
※ 受付欄		
(地球温暖化対策計画受付番号)		

(注意) ※印の欄には記入しないでください。



(A 4)

(裏)

地球温暖化対策の実施状況					
実施年度の 温室効果ガス 排出量	ガスの種類	排出量 (二酸化炭素換算 単位：トン)		基準年との増減 (単位：トン)	
	二酸化炭素	7,668		-565	
	メタン				
	一酸化二窒素				
	HFC				
	PF ₆				
	SF ₆				
	合計	7,668		-565	
※ 温室効果ガスの 排出の抑制に 係る目標の 達成状況	温室効果ガス排出量の抑制に係る目標 (二酸化炭素換算 単位：トン)				
	基準年度の排出量	目標値	削減率	達成状況	
			%削減		
	温室効果ガス排出原単位の抑制に係る目標 (二酸化炭素換算 単位：トン又は kg)				
	指標	基準年度の 原単位排出量	目標値	削減率	達成状況
	当たり			%削減	
※ 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の達成状況			別添とする		
地球温暖化対策の実施状況の公表の方法					
大学ホームページにて公表する。 http://www.jmk.ynu.ac.jp/gakugai/shisetsu/5kan_mane/ondanka/ondankataisaku.html					
その他地球温暖化を防止する対策の実施に関する事項					

(注意) ※印の欄は計画期間の最終年度の実施状況を報告する場合に記入してください。

CO₂排出量 算出根拠

★計画期間を次の条件から選択し、右欄に数字を入力してください。 条件：平成18～20年度→1、平成19～21年度→2、平成20年～22年度→3 平成21年度	計画期間 入力 3
--	---

燃料及び熱の種類	年間使用量		CO ₂ 排出量 (t)	単位発熱量		排出係数 (t-C/GJ)	排出係数 (t-CO ₂ /GJ)
	数量	単位		数値	単位		
原油		(kl)		38.2	(GJ/kl)	0.0187	左欄×44/12
うちコンデンセート (NGL)		(kl)		35.3	(GJ/kl)	0.0184	左欄×44/12
揮発油	5.15	(kl)	12	34.6	(GJ/kl)	0.0183	左欄×44/12
ナフサ		(kl)		34.1	(GJ/kl)	0.0182	左欄×44/12
ジェット燃料油		(kl)		36.7	(GJ/kl)	0.0183	左欄×44/12
灯油	208.37	(kl)	519	36.7	(GJ/kl)	0.0185	左欄×44/12
軽油		(kl)		38.2	(GJ/kl)	0.0187	左欄×44/12
A重油		(kl)		39.1	(GJ/kl)	0.0189	左欄×44/12
B・C重油		(kl)		41.7	(GJ/kl)	0.0195	左欄×44/12
石油アスファルト		(t)		41.9	(GJ/t)	0.0208	左欄×44/12
石油コークス		(t)		35.6	(GJ/t)	0.0254	左欄×44/12
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	(t)		50.2	(GJ/t)	0.0163	左欄×44/12
	石油系炭化水素ガス	(千Nm ³)		44.9	(GJ/千Nm ³)	0.0142	左欄×44/12
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	(t)		54.5	(GJ/t)	0.0135	左欄×44/12
	その他可燃性天然ガス	(千Nm ³)		40.9	(GJ/千Nm ³)	0.0139	左欄×44/12
石炭	原料炭	(t)		28.9	(GJ/t)	0.0245	左欄×44/12
	一般炭	(t)		26.6	(GJ/t)	0.0247	左欄×44/12
	無煙炭	(t)		27.2	(GJ/t)	0.0255	左欄×44/12
石炭コークス		(t)		30.1	(GJ/t)	0.0294	左欄×44/12
コールタール		(GJ/t)		37.3	(GJ/t)	0.0209	左欄×44/12
コークス炉ガス		(千Nm ³)		21.1	(GJ/千Nm ³)	0.0110	左欄×44/12
高炉ガス		(千Nm ³)		3.41	(GJ/千Nm ³)	0.0266	左欄×44/12
転炉ガス		(千Nm ³)		8.41	(GJ/千Nm ³)	0.0384	左欄×44/12
その他の燃料等	都市ガス (13A)	582.50	(千Nm ³)	1,326	(GJ/千Nm ³)	0.0138	左欄×44/12
	産業用蒸気		GJ	1.00	GJ		0.0600
	蒸気 (産業用のものは除く)		GJ	1.00	GJ		0.0570
	温水・冷水		GJ	1.00	GJ		0.0570
他人から供給された電気	年間使用量		CO ₂ 排出量 (t)			排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	
	数量	単位					
東京電力から供給された電気	17,141,980	(kWh)	5,811			0.000339	
東京電力以外から供給された電気		(kWh)				0.000555	

※上表以外に排出するCO₂排出量 (t)

CO₂排出量 合計 7,668 (t)

使い方

- * 黄色の欄に、計画期間、燃料・電気等の使用量を入力すれば、CO₂の排出量が算出できます。
- * 水色の欄、緑色の欄は自動計算です。緑色の欄の数値を「地球温暖化対策計画書」、
「地球温暖化対策実施状況報告書」の「二酸化炭素」欄に記入してください。
- ※「上表以外に排出するCO₂排出量」の欄は、メタン等の他の温室効果ガスではなく、
上表以外の燃料や異なった係数を用いる場合に使用してください。
- ※ メタン、一酸化二窒素、HFC、PFC、SF₆等は別に計算してください。